

栃木県立小山高等学校 保護者対象 進学講演会

資料作成・講演：河合塾東日本営業部 野村 寛



河合塾が提供する大学入試情報サイト



新規会員登録中!



<http://www.keinet.ne.jp/>

Webで検索して、すぐアクセス!



ひとつ上が、見えてくる。

河合塾

2019～2022年度入試の動き

入試年度

2019
年度

都市部私立大・・・厳しい入試の継続

2020
年度

最後のセンター試験 → 新入試を控えた安全志向

2021
年度

高3受験

新入試での受験 受験人口は減少

大学入学共通テスト導入、コロナウイルスに伴う休校措置等の影響

新課程入試ではない

2025
年度

中2受験

新学習指導要領履修者による新々入試
= 本当の意味で入試が変わるのはここから

共通テスト…CBT化、「情報」出題？

2020年度入試の受験環境

大学志願者数減少

18歳人口は前年から約7千人減少。これに伴い現役大学志願者数は減少。既卒生（浪人生）も1割弱減少している見込みで、現卒あわせた大学志願者数は、前年から約2万人減の65万4千人程度（3%減）と推定。センター試験受験者数も約4%減となった。

センター試験平均点ダウン

最後となったセンター試験。出題では大学入学共通テストを意識した出題もみられた。志願動向に影響が大きい平均点は、英数国の主要教科でダウン。とくに英語（筆+L）-10点、数学ⅠA・ⅡB-12点と大幅にダウン。7科目型で約20点（2%）ダウンした。

私立大定員超過是正は一段落

ここ数年、都市部を中心とした私立大難化の要因となった入学定員管理の適正化は、多くの大学が昨春入試までに終えている様子がみられた。今春は、合格者数の絞り込みは起きにくい状況であった。

新入試を控えた入試警戒する受験生の安全志向

翌年に新入試を控え、現役合格を意識した心理から、例年以上の安全志向が模試、リサーチ時からみられた。とくに近年難化をみせていた都市部私立大では難関大を敬遠する動きが鮮明であった。

国公立大一般入試 全体概況

● 日程別

日程	志願者数				合格者数			倍率 (志/合)	
	2019	2020	前年差	前年比	2019	2020	前年比	'19	'20
前期	258,540	243,103	-15,437	94%	91,182	90,959	100%	2.8	2.7
後期	179,613	165,086	-14,527	92%	22,524	22,986	102%	8.0	7.2
中期	31,687	31,426	-261	99%	5,077	4,735	93%	6.2	6.6

● 地区別 (前期日程)

地区	志願者数				合格者数			倍率 (志/合)	
	2019	2020	前年差	前年比	2019	2020	前年比	'19	'20
北海道	12,297	12,584	+287	102%	4,807	5,189	108%	2.6	2.4
東北	20,776	19,376	-1,400	93%	7,686	7,537	98%	2.7	2.6
北関東・甲信越	27,074	25,321	-1,753	94%	10,023	9,879	99%	2.7	2.6
首都圏	51,507	48,741	-2,766	95%	15,115	15,039	99%	3.4	3.2
北陸	11,283	10,221	-1,062	91%	4,050	4,053	100%	2.8	2.5
東海	22,619	21,105	-1,514	93%	7,850	7,842	100%	2.9	2.7
近畿	43,531	39,697	-3,834	91%	15,059	15,033	100%	2.9	2.6
中国	23,862	22,872	-990	96%	9,112	9,035	99%	2.6	2.5
四国	10,723	11,000	+277	103%	4,221	4,243	101%	2.5	2.6
九州	34,868	32,186	-2,682	92%	13,259	13,109	99%	2.6	2.5

※河合塾調べ

私立大 全体概況

● 全体概況

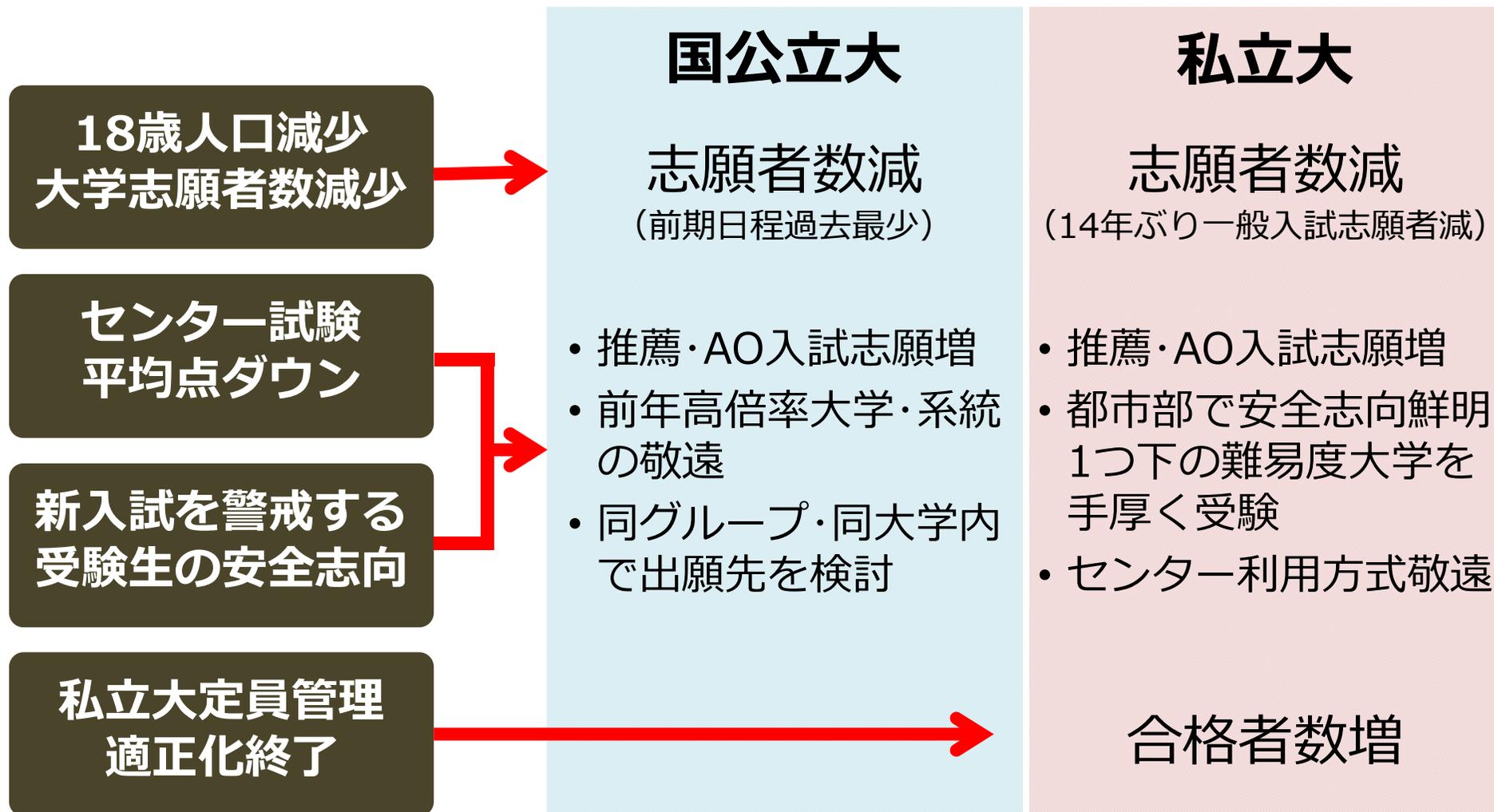
		志願者数				合格者数				倍率 (志/合)	
		2019	2020	前年差	前年比	2019	2020	前年差	前年比	'19	'20
全体		3,873,922	3,766,416	-107,506	97%	921,587	991,624	+70,037	108%	4.2	3.8
方式別	一般	2,550,364	2,572,164	+21,800	101%	554,626	622,672	+68,046	112%	4.6	4.1
	センター	1,323,558	1,194,252	-129,306	90%	366,961	368,952	+1,991	101%	3.6	3.2
期別	一期	3,521,264	3,431,771	-89,493	97%	844,281	898,929	+54,648	106%	4.2	3.8
	二期	352,658	334,645	-18,013	95%	77,306	92,695	+15,389	120%	4.6	3.6

● 地区別

地区	志願者数				合格者数				倍率 (志/合)	
	2019	2020	前年差	前年比	2019	2020	前年差	前年比	'19	'20
北海道	38,275	41,346	+3,071	108%	21,462	21,756	+294	101%	1.8	1.9
東北	38,202	39,250	+1,048	103%	17,965	18,589	+624	103%	2.1	2.1
北関東・甲信越	49,926	53,071	+3,145	106%	17,700	18,090	+390	102%	2.8	2.9
首都圏	2,218,409	2,124,118	-94,291	96%	464,037	495,587	+31,550	107%	4.8	4.3
北陸	24,483	28,302	+3,819	116%	10,621	10,595	-26	100%	2.3	2.7
東海	342,805	345,183	+2,378	101%	105,111	113,506	+8,395	108%	3.3	3.0
近畿	955,389	912,642	-42,747	96%	202,229	228,288	+26,059	113%	4.7	4.0
中国	51,831	56,896	+5,065	110%	25,033	25,926	+893	104%	2.1	2.2
四国	11,146	10,509	-637	94%	5,876	6,348	+472	108%	1.9	1.7
九州	143,456	155,099	+11,643	108%	51,553	52,939	+1,386	103%	2.8	2.9

※河合塾調べ (5/20現在、546大学判明分)

2020年度入試結果まとめ



受験人口減少期に突入 入試は転換期を迎える
大学入試は今後も競争緩和へ

大学入学共通テスト、新入試に向けて

大学入学共通テスト 問題作成の方向性

● 思考力・判断力・表現力を一層重視した問題

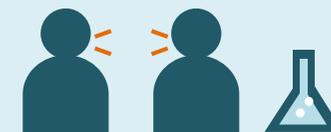
知識の理解の質を問う問題、思考力・判断力・表現力を発揮して解く問題を重視する。
※2018年度試行調査は平均得点率（平均正答率）が5割程度となるよう作問。
（センター試験の目標平均点は6割を想定）

● 学習過程を意識した場面設定の問題

- ・ 授業において生徒が学習する場面、社会生活や日常生活の中から課題を発見し解決方法を構想する場面、資料やデータ等をもとに考察する場面など、学習過程を意識した場面設定を重視する。

☞ 試行調査では話し合いやグループ学習、実験・研究の場面など
高校で学習する場面を想定した設定の問題目立つ。

- ・ これまでに身に付けた知識の理解や思考力が、
新たな場面でも力が発揮できるかを問うため、
教科書等で扱われていない初見の資料等も扱うことがある。



● 複数情報を組み合わせて思考・判断させる問題

文章・図・資料などの複数の情報を提示し、必要な情報を読み取る力や、読み取った情報を比較したり組み合わせたりして、課題を解決する力を問う。

大学により異なる 英語R:Lの配点比

大学入学共通テスト英語のリーディングとリスニングの配点比は1:1だが、各大学が成績利用する際は、配点比を自由に設定できる。

公表されている大学の状況を見ると、多いパターンとしては、そのまま「1:1」とする大学のほか、「4:1」「3:1」とする大学に分かれている。

【大学の設定状況】

	リーディング：リスニングの配点比		
	1：1	4：1	3：1
国公立大	小樽商科大、札幌医科大、北海道大、弘前大、秋田県立大、お茶の水女子大、東京学芸大、静岡文化芸術大、名古屋工業大、広島大、九州工業大、福岡県立大	福島大、茨城大、筑波大、群馬大、千葉大、新潟大、信州大、名古屋市立大、神戸大、神戸市外国語大、奈良女子大、鳥取大、島根大、岡山大、広島大、山口大、鹿児島大（医-医除く）	東北大、宇都宮大、東京医科歯科大、岐阜大、名古屋大、京都大、大阪大、鹿児島大（医-医） 東京大 7：3
私立大	学習院大（経済除く）、中央大（法-併用方式、総合政策、経済、商）、東海大、東京女子大、東洋大、明治大（文、国際日本、法、政治経済、経営、総合数理、理工、農-食料環境政策）、京都橘大、神戸学院大	学習院大（経済）、中央大（文、法-単独方式、国際経営、理工）、明治大（情報コミュ）、桃山学院大	東京電機大、明治大（農-食料環境政策除く）

大学入学共通テスト英語におけるイギリス英語の使用について

現行の大学入試センター試験の英語表記はアメリカ英語を使用。

※試行調査（プレテスト）においてもアメリカ英語を使用

⇒ 共通テストでは現在国際的に広く使用されているアメリカ英語に加えて、場面設定によってイギリス英語を使用することもある。

（補足説明）

- 高等学校学習指導要領に示された、国際的に広く日常的なコミュニケーションの手段として通用している「現代の標準的な英語」には語彙、綴り、発音、文法などに多様性があることに気付かせる指標を踏まえ、出題の場面や内容にふさわしい英語表記とするため、現在国際的に広く使用されているアメリカ英語に加えて、場面設定に応じてイギリス英語を使用することがある。

- リスニングの読み上げ音声については、問題作成方針に示すとおり、多様な話者による現代の標準的な英語を使用する。

※試行調査（プレテスト）においてもアメリカ英語、イギリス英語及び日本語母話話者による英語の音声で出題

私立大入試にも欠かせない共通テスト対策

私立難関大では大学入学共通テストの導入を機に、大学入学共通テストの利用を拡大する例がみられる

【共通テストを新規利用する大学】

- ・ 学習院大 – 従来通りの一般方式に加え、共通テスト利用方式を全学部で実施
- ・ 上智大 – 既存のTEAP利用型のほか、全学部で共通テスト利用方式、個別試験との併用方式を実施

【一般選抜で共通テストが必須の大学・学部】

- ・ 早稲田大
 - 国際教養 – 共通テスト・個別試験併用方式のみに
 - 政治経済 – 共通テスト利用方式、共通テスト・個別試験併用方式のみに
 - スポーツ科学 – 共通テスト利用方式、共通テスト・個別試験併用方式のみに

共通テストに向けて

- 私立大も多くが共通テストを利用
大学入試において**共通テスト対策は欠かせない**
- センター試験と出題範囲は変わらない
まずはしっかりと**基礎固め**を
- 教科を問わず情報の収集・分析力が問われる
図やグラフの読み取りの練習を
- **リスニング**の対策がより重要に
- 模擬試験で雰囲気慣れること
自己採点の練習もしっかりと

2021年度入試の受験環境

2021年度入試の受験環境

大学志願者数は減少

- 18歳人口減少に伴い**現役**大学志願者数は**減少**
- **既卒生**（浪人生）も2割前後**減少**の見込み

新入試への移行

- センター試験から大学入学共通テストへ
- 一般選抜での**主体性評価**の動き、一部私立大で大掛かりな入試変更
- **入試スケジュール**の変更（総合型選抜、学校推薦型選抜の後倒し）

新型コロナウイルス感染症の影響

- 文科省、**入試日程**の後倒し・**出題範囲**の限定・**追試**による受験機会確保を検討
- 出願要件や選抜方法**変更**の動き

国公立大 主な入試変更

新入試への移行

共通テスト英語 R:L配点比

「1:1」「4:1」に対応分かれる

一般選抜での主体性評価の動き

面接の実施、調査書の点数化、志願者本人の記載資料の活用

総合型選抜・学校推薦型選抜

新規実施の拡大（一般選抜からのシフト）、共通テスト必須化の動き

その他の変更

募集区分の大括り化

筑波大（前）学群・学類の枠を越えた総合選抜導入、九州大（工-前）学部一括入試導入

後期日程廃止

北海道大（歯）、東京工業大、金沢大、岐阜大（教育）、香川大（医-医）、
愛媛大（医-医） など

2段階選抜の新規実施

東京工業大*、横浜国立大（経営-前）、大阪大（人間科学-前） など

*2021年度入試より基準点廃止

国公立大 2021年度入試の主な入試変更①

大学	学部-学科等	日程方式	変更点
北海道	理-地球惑星科学、水産	総合型	・ センタを課さない選抜→共通テストを課す選抜へ
		前期	・ 2次科目：面接増
	歯-歯	後期	・ 後期日程廃止
		総合型	・ センタを課さない選抜→共通テストを課す選抜へ
東北		前・後期	・ 合否ラインに同点で並んだ志願者の合否判定の際、出願時に自己申告した「主体性チェックリスト」による評価が高い志願者を優先的に合格とする
	文、教育、法、経済	前期	・ 2次科目：国語の試験時間変更（120→150分）
	経済		・ 募集人員：前期：155→147名、後期：30→25名、総合型Ⅲ：45→58名
	教育		・ 募集人員：前期：60→49名、総合型Ⅲ：10→7名
		総合型	・ 総合型選抜Ⅱ期（共通テストを課さない選抜）の新規実施（14名）
	法		・ 募集人員：前期：118→112名、総合型Ⅱ：20→24名、総合型Ⅲ：22→24名
	理	後期	・ 2次科目：面接増 ・ 2段階選抜：予告倍率変更（20倍→10倍）
	農		・ 募集人員：前期：112→105名、総合型Ⅱ：20→23名、総合型Ⅲ：18→22名
	医-保健-放射線技術科学		・ 募集人員：前期：29→25名
	医-保健-検査技術科学		・ 募集人員：前期：29→25名
	医-保健-放射線技術科学、検査技術科学	総合型	・ 総合型選抜Ⅱ期（共通テストを課さない選抜）の新規実施（各専攻4名）
	歯	前期	・ 2次科目：面接増
	筑波		前期
人文・文化-比較文化		前期	・ 2段階選抜：新規実施（5倍）
		後期	・ 後期日程廃止
理工-物理、化学		後期	・ 後期日程新規実施
理工-物理		前期	・ 2段階選抜：予告倍率変更（5倍→10倍）
生命環境-生物		前期	・ 2段階選抜：新規実施（5倍）
		後期	・ 2段階選抜：新規実施（8倍、基準点あり）
芸術		後期	・ 2段階選抜：新規実施（6倍）
情報-情報科学、情報メディア創成		前期	・ 2段階選抜：新規実施（5倍）
東京		前期	・ 共通テスト科目：英リスニング増
		学校推薦型	・ 1校から推薦できる人数が4名までに変更（男女各3名以内） ※同一学部（医学部は各学科）への推薦は男女各1名まで
東京工業		前期	・ 基準点（センタ：600/950点）を廃止し、2段階選抜（4倍）を実施
	生命理工	後期	・ 後期日程廃止
一橋		前・後期	・ 合否ラインで同点で並んだ場合、調査書の内容を質的観点から点数化し、総合点の高い者から合格とする

国公立大 2021年度入試の主な入試変更②

大学	学部-学科等	日程方式	変更点
金沢			・ 融合学域先導科学類（55名）を新設
名古屋	医-医	後期	・ 2段階選抜廃止
	医-保健	前期	・ 2次科目：国語増
京都	理	特色入試	・ 試験科目：生物に関する能力測定考査を中心とした試験の新規実施
	医-医	特色入試	・ センタを課さない→共通テストを課す選抜へ ・ 試験科目：小→口頭試問
大阪	薬	前期	・ 2次科目：小論文・面接増 ・ 2段階選抜：予告倍率変更（4倍→2.5倍）
	人間科学		・ 2段階選抜：新規実施（2.4倍）
神戸			・ 学部改組：海事科学部→海洋政策科学部
	工-機械工	前期	・ 共通テスト科目：理科の指定科目変更（生物、地学が選択不可になる）
	工-応用化学		・ 募集人員：前期：78→85名、後期：26→18名、総合型（志）：2→3名
	工-情報知能工		・ 募集人員：前期：85→90名、後期：20→15名
	海洋政策科学		・ 募集人員：前期：143→145名（理115名、文30名）、後期：47→40名、総合型（志）：7→15名
		前期	・ 入試の複線化（1方式→2方式（理系科目重視型、文系科目重視型）で実施）
		学校推薦型	・ 学校推薦型選抜廃止
	医-医		・ 2段階選抜：内容変更（センタ 650/900点→予告倍率 3倍）
医-保健-作業療法学	後期	・ 後期日程廃止	
	学校推薦型	・ 学校推薦型選抜の新規実施（3名）	
和歌山県立医科			・ 薬学部薬学科（100名）を新設
徳島	薬-創製薬科学		・ 募集停止、薬学科（6年制）に一本化
九州	法	後期	・ 2次科目：小→講義に関する理解度確認試験
	経済-経済・経営		・ 募集人員：前期：110→93名、後期：31→26名
		総合型	・ 総合型選抜（共通テストを課す選抜）の新規実施（22名）
	経済-経済工	後期	・ 志望理由書の提出
	工		・ 学科改組：6学科→12学科
		前・後期	・ 募集体系の変更：学科別募集→学科群別募集、入学時に学科群を特定しない学部一括入試も実施
	芸術工-芸術-インダストリアルデザイン		・ 募集人員：前期：25→20名
		学校推薦型	・ 学校推薦型選抜（共通テストを課す選抜）の新規実施（5名）
	芸術工-芸術-未来構想デザイン		・ 募集人員：前期：15→10名
		学校推薦型	・ 学校推薦型選抜（共通テストを課さない選抜）の新規実施（5名）
農-生物資源環境		・ 募集人員：前期：172→170名、後期：24→22名、総合型：20→24名	

筑波大「総合選抜」の導入

前期日程に学群・学類の枠を越えて選抜を行う「総合選抜」を導入
4つの選抜区分（文系・理系Ⅰ・理系Ⅱ・理系Ⅲ）で実施する

総合選抜の特徴

- 学類・専門学群選抜とは別に、前期日程募集人員の約3分の1を総合選抜で募集
- 合格者は体育専門学群を除くすべての学群・学類に進学可能
1年次終わりに本人の志望と入学後の成績に基づいて2年次以降の所属学類・専門学群を決定
- 1年次は特定の学群・学類に所属せず、専門分野の異なる複数科目を履修

入試科目・選抜方法

<文系>

共テ：外・数2・国・理・地公2（900点）
2次：外・国必須、地公・数→1（1500点）

<理系>

共テ：外・数2・国・理2・地公（900点）
2次：外・数ⅢB・理2*（1500点）

*理系Ⅰは物理必須

各選抜区分

文系（128名） 文科系志向の学生を選抜 <優先受け入れ学群-学類> 人文・文化、社会・国際-社会、医-看護	理系Ⅰ（154名） 物理学の素養を必須とする分野を志向する学生を選抜 <優先受け入れ学群-学類> 生命環境-地球、理工
理系Ⅱ（41名） 特定の分野にとらわれない理数系志向の学生を選抜 <優先受け入れ学群-学類> 生命環境、医-医療科学	理系Ⅲ（90名） 数学に重点をおいた理数系の分野を志向する学生を選抜 <優先受け入れ学群-学類> 理工-数学、情報

2年次以降には、体育専門学群を除く全学群・学類に進めるが、特定の選抜区分の入学者を優先する“優先受け入れ枠”が設けられている

公立大の新設

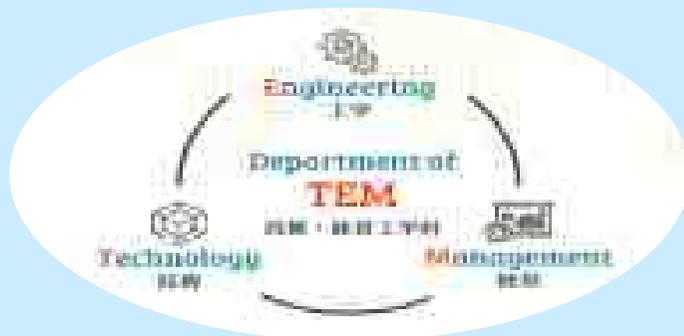
各地で新設されてきた公立大。2020年度の大学数は国立大（82校）を上回る91校となっている。2021年度も新たに2校が設置される予定

三条市立大（新潟県）

工学部 技術・経営工学科 入学定員80名

学際的な工学カリキュラムに技術経営*の要素を取り入れ、企業価値を創造するための技術やプロセスを学ぶ。産学連携実習も豊富

*企業の基礎技術の価値を高め、他社との競争で優位性を生み出す技術開発のためのマネジメント



● 選抜方法（一般選抜）

入試日程・募集人員

A日程（2月下旬実施）56名、B日程（3月上旬実施）16名

入試科目

英・数（ⅢB）・物理 ※初年度は共通テストは利用しない

※大学HPより作成

叡啓大（広島県）

ソーシャルシステムデザイン学部

ソーシャルシステムデザイン学科 入学定員100名

SDGs*を念頭に、経済・社会・環境を巡る課題に対して、経済的価値と社会的価値を同時達成できるような統合的解決策を立案できる力を育成する

*持続可能な開発目標



● 募集人員

一般選抜	学校推薦型	総合型	留学生
10名	20名	50名	20名

● 一般選抜の入試科目

数・国必須、理科・地公から1

※初年度は共通テストは利用しない

私立大 主な入試変更

新入試への移行

共通テストに関わる変更

- 新規利用…上智大、学習院大、青山学院大（コミュニティ人間科学） など
- 必須化…早稲田大（政治経済・国際教養・スポーツ科学） など
- 利用廃止…早稲田大（商）・共栄大・大阪樟蔭女子大 など

大掛かりな入試変更

多くは既存入試を踏襲するものの、一部で大きく入試を変更する大学あり

- 早稲田大（政治経済）…共通テスト必須化、総合問題の実施
- 青山学院大（個別学部日程）…共通テスト併用、学科により独自試験実施
- 立教大（全学部日程）…個別試験英語を廃止し、共通T英or資格・検定試験必須化

英語資格・検定試験の活用拡大

4技能評価の観点から活用大学は増加傾向。利用方法も多様化

主体性評価の扱い

一般選抜では、出願時にこれまでの活動や入学後の学び等の記載を提出させる大学が増加。ただし、多くは入学後の参考資料扱いとし、合否判定に利用する大学は少ない。

青山学院大・早稲田大 一般選抜の変更

青山学院大（個別学部日程）

メイン入試の個別学部日程を大きく変更

● 共通テストを併用

経済学部を除く。また経済学部および文学部・理工学部の一部で共通テストを併用しない方式を設定

● 英語資格・検定試験を利用

国際政治経済学部・総合文化政策学部で出願資格として利用（一部学科・方式を除く）

● 独自試験の実施

個別試験は各学部・学科のアドミッションポリシーに応じた独自の試験を実施

例) 国際政治経済学部 国際コミュニケーション学科

A方式	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 共通テスト 外・国必須、数・地歴B・公→1 ➢ 独自試験（論述・総合問題※）
B方式	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 英語資格・検定試験（出願資格として利用） ➢ 共通テスト：外・国必須 ➢ 独自試験（論述・総合問題※）

※2020.5サンプル問題公表（大学HP）

論述は英文を読み4問の設問に解答。1問は賛成または反対の立場の意見を英文で述べるもの。総合問題は必須1問、選択1問の計2問。一部、英文で出題され、政経の要素を含む文章・図表を題材とする

早稲田大（政治経済学部）

一般入試（募集人員300名）の内容を大きく変更して下記の内容①②で実施

① 共通テスト（100点：各科目25点）

外・数ⅠA・国必須、数ⅡB・理・地歴B・公→1

② 学部独自試験（100点）…1科目120分で実施

日英両言語の長文を読解して解答、記述を含む英語の「書く」能力を問う問題も設ける

[2020.3サンプル問題]

大問Ⅰ：日本語文章読解問題

河野勝著「復興を支援することは、なぜ正しいのか」より
問題文4頁強、設問6問
6問中1問が記述式、文中に入る文を50字以内で問う内容

大問Ⅱ：英語長文問題

日本の英語教育の年代別変遷、地域差について論じた文章
問題文2頁強、設問6問（英文）
文中や設問に図表が複数提示されている点が特徴

大問Ⅲ（英作文）

与えられたテーマ（英文）に対し、2つ以上の理由を挙げたうえで賛成または反対の意見を英文で述べる

上智大 一般選抜の変更

- 新たに共通テストを利用
- 既存のTEAP利用型入試をベースにした入試方式を含む3方式で実施
- TEAPスコア利用型では、英語資格・検定試験を出願要件→得点化利用へ変更

入試方式	選抜内容		
	大学入学共通テスト	外国語資格・検定試験	大学独自試験 ^(注)
TEAPスコア利用型 (全学統一日程)		TEAP/TEAP CBT スコアを得点化して利用	教科・科目型試験 1～3科目 (英語は課さない)
学部学科試験・ 共通テスト併用型	3～4科目 (外国語必須)	任意提出 得点化して共通T英に加算	学部学科適性試験 記述式を含み、文章理解力・ 論理的思考力・表現力等を総 合的に測定 ※2020.4 サンプル問題公表済
共通テスト利用型	4教科4～6科目 (外国語・数I A・国は必須)	任意提出 共通T英の得点として利用可 (CEFR B2以上)	

(注) 神・心理・看護学科ではいずれの入試方式でも面接を課す。

立教大 一般選抜の変更

- 個別学部日程を廃止、全学部日程を複数日実施へ
- 大学独自の英語試験を廃止、共通テスト英語または資格・検定試験の成績必須

文系学部の全学部日程

試験日	大学独自試験	
	必須科目	選択科目
2/6	国語	数学 or 地歴・公民
2/8		
2/9		
2/12		
2/13		

※学部・学科、日程により異なる

+

英語
<p>共通T英語 または 英語資格・検定試験</p> <p>のうち、高得点の方を利用</p>

※文学部は上記のほか2/11に独自試験日を設定。英・国・地歴（世界史or日本史）の3科目

※理学部は2/6,9の2日のみ。大学独自試験は数学と理科を課す。英語の扱いは同様

2021年度 新設・改組の動き

大学の新設

公立大：三条市立大（新潟県三条市）、叡啓大（広島市）

私立大：幸福の科学大（千葉県長生郡）、松本看護大（長野県松本市）、大阪信愛学院大（大阪市）

専門職大：公立1大学、私立6大学、短大2大学で新設予定

大学の統合：大阪医科大・大阪薬科大→大阪医科薬科大

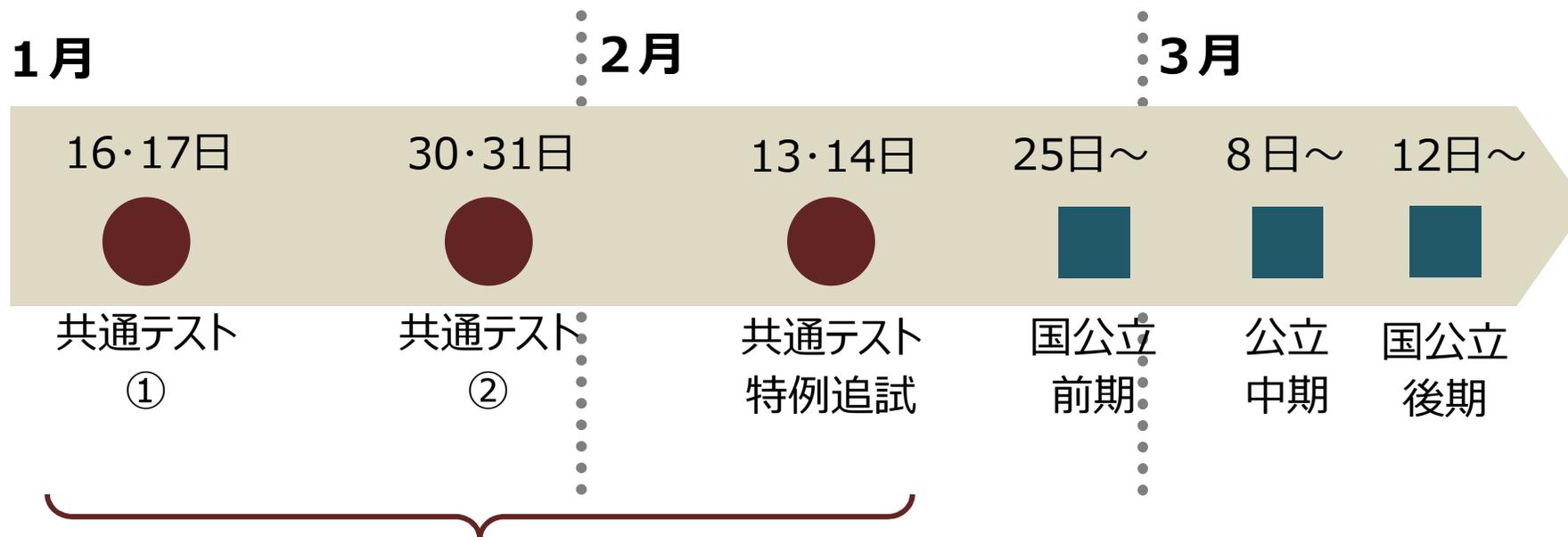
学部・学科の新設・改組

国公立大：福島県立医科大（保健科学）、群馬大（情報）、金沢大（融合）、岐阜大（社会システム経営）、神戸大（海洋政策科学）、和歌山県立医科大（薬）など新設

九州大（工学部6→12学科）、宮崎大（工学部7→1学科） など改組

私立大：日本医療大（医療福祉）、東京理科大（経営-国際デザイン経営）、國學院大（観光）、関西医科大（リハビリテーション）、関西学院大（理工→理・工・生命環境・建築の4学部） など新設

共通テストの対応



共通テストの変更

- 追試は例年より1週間後倒しし、**2週間後に実施**（共通テスト②）
- 共通テスト②の試験会場を47都道府県に設置（例年2会場）
- 現役生は学業の遅れを理由に**共通テスト②を出願時に選択可**
※ただし、在学校長が学業の遅れのため共通テスト②で受験することが適当であると認めた者
- 共通テスト②の**追試を2月中旬**に実施
- 共通テスト①と②の得点調整は行わない
- 共通テスト①②の大学への成績提供は2月8日以降（特例追試は2月18日以降）

共通テストのスケジュール（2021年度入試）

受験案内配布

9月1日（火）～

出願

9月28日（月）～10月8日（木）

- 現役生は高等学校を通して出願
- 出願時に「受験する教科」「理科の受験パターン・科目数」「地歴公民の受験科目数」等を申請

確認ハガキ送付

～10月下旬

- 出願した内容を確認するための「確認ハガキ」が大学入試センターより送付される。教科等の訂正が必要な場合は届け出る

本(追)試験

① 1月16日（土）・17日（日）

② 1月30日（土）・31日（日）

- ②は新型コロナウイルス感染症の影響に伴う学業の遅れを在学校長に認められた者及び1月16・17日に実施する試験の追試験を受験する者を対象として実施

特例追試験

2月13日（土）・14日（日）

- 特例追試験は病気等で本試験②を受験できなかった受験者が対象

共通テスト①②の比較（メリット・デメリット）

	共通テスト①	共通テスト②
メリット	<ul style="list-style-type: none"> • 疾病等により受験できなかった場合、②を追試として活用できる • 国公立大出願に向けた準備（出願校選定、願書取り寄せ・作成）に余裕がある • 国公立大2次試験、私立大一般選抜へ早期の気持ちの切り替え、試験準備が可能 	<ul style="list-style-type: none"> • 共通テスト①の内容を確認したうえでの受験が可能 • 共通テストに向けた準備期間を長く取れる
デメリット	<ul style="list-style-type: none"> • 初めての共通テストによる受験 • 学習の遅れによる共通テストに向けた学習期間の短さ 	<ul style="list-style-type: none"> • 疾病等により受験できなかった場合、正規スケジュールでの受験不可（2月中旬の特例追試は受験できるが・・・） →疾病等への不安を抱き続けることに • 国公立大出願に向けた準備（出願校選定、願書取り寄せ・作成）に余裕がない（2/5出願締切） • 国公立大2次試験、私立大一般選抜への準備期間が短い（私立大はすでにスタートしている）、早期の気持ちの切り替えができない • 試験会場数が①より少ない可能性高い

大学への要請

総合型・学校推薦型選抜

- **総合型選抜の出願時期を9/15以降とする**

- **中止・延期となった大会や資格・検定試験等への対応**

中止・延期により志願者が不利益を被ることがないようにする。評価の方法や重み付け等に配慮し、志願者の成果獲得に向けた努力のプロセスや意欲を多面的・総合的に評価すること。推薦書、志願者本人が記載する資料において努力のプロセスの記載を求めるなど評価方法を定め、募集要項で周知する。

- **ICTの活用**

ICTを活用したオンラインによる個別面接やプレゼンテーション、大学の授業へのオンライン参加とレポートの作成、実技動画の提出、小論文・志願者本人の記載資料の提出などを取り入れた選抜の実施。ICT活用にあたり、志願者の利用環境の差異や技術的不具合により志願者が不利益を被ることがないように、代替措置などの配慮を行うこと。

- **調査書の記載**

臨時休業により第3学年の評定を記載できない場合、その理由を付して記載不可とすることを可とすること。

大学への要請

一般選抜

● 個別試験での受験機会確保

下記のいずれかを必ず実施することを要請

- 追試験の設定
- 追加の受験料を徴収せずに別日程での受験に振替

● 出題範囲の配慮①（共通テストの科目指定）

「地歴・公民、理科の2科目指定を1科目に減じる」「指定科目以外の科目への変更（例：“物理”から“物理基礎”への変更等）を認める」などの検討。

● 出題範囲の配慮②（個別試験での工夫）

- 高校3年次に履修することの多い科目（数学Ⅲ、物理、化学、生物、地学、世界史B、日本史B、地理B、倫理、政治・経済）の選択問題の設定。
- 教科書の「発展的な学習内容」から出題しない、あるいは出題する場合は、設問中に補足事項等を記載するなど。

国公立大学の対応

一般選抜

● 出願期間の延長

- 1/25～2/5 （締切日を当初の2/3から延長、共通テスト②受験者に配慮）

● 追試験の実施

- 対象者：一般選抜（前期・中期・後期）出願者で新型コロナウイルス罹患等で受験できなかった者のうち、各大学の定めに応じ追試験願受付を行った者
- 試験日程：試験日：3/22～* 合格発表日：3/26～* 入学手続締切日：3/30まで
*公立大は追試験の日程を一律に定めていない。合格発表は3/26まで

総合型選抜・学校推薦型選抜（共通テストを課す場合）

● 入試日程の変更

- 総合型選抜の出願期日 9/15以降（9/1以降から変更）
- 合格発表日 2/16まで（大学への共通テスト成績データ提供が遅れるため、2/10から変更）
- 入学手続締切日 2/22まで（2/17から変更）

共通テスト 特例追試験受験者

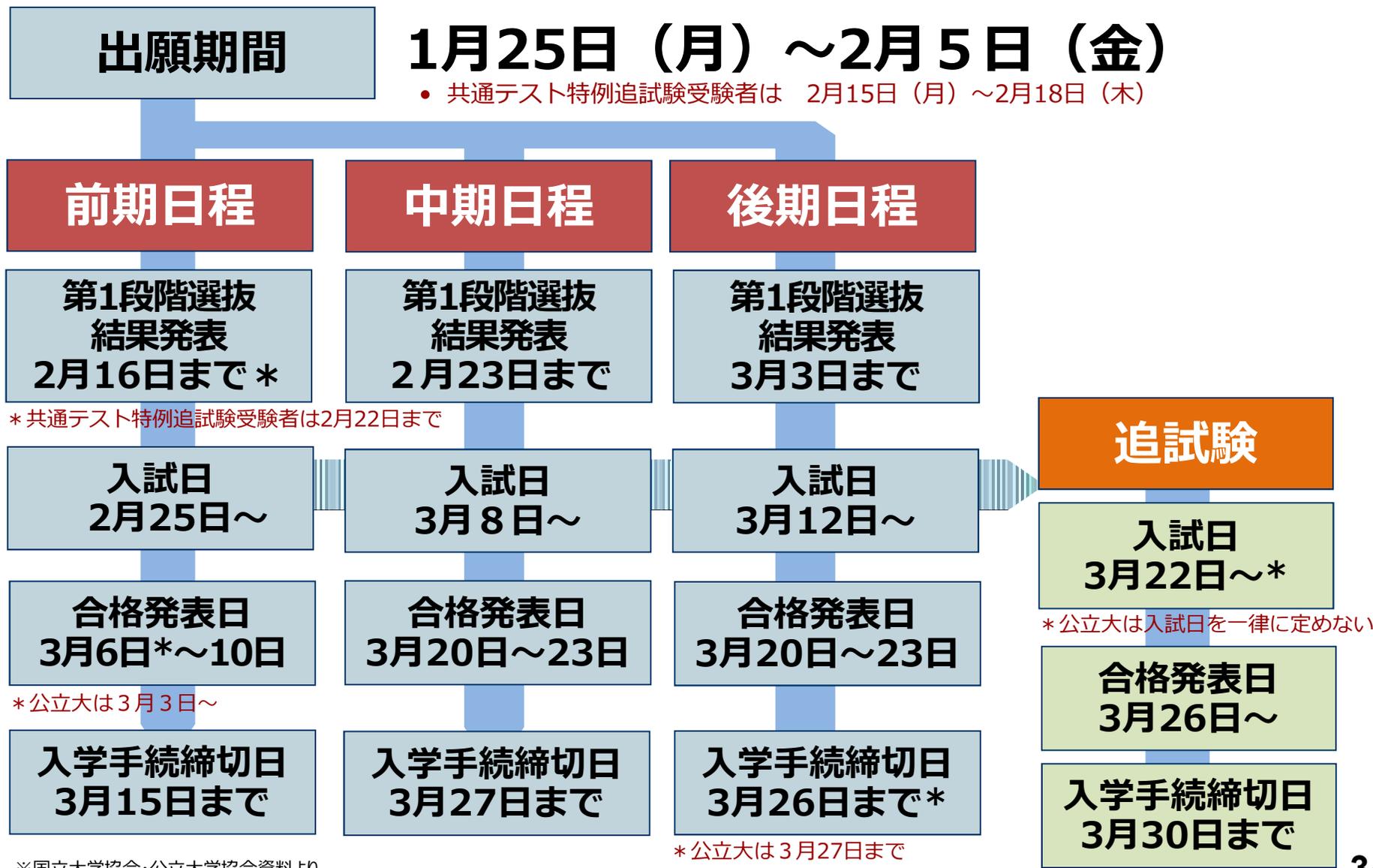
● 入試日程を別途設定

- 一般選抜の出願期間 2/15～2/18（共通テスト特例追試験受験後に出願可）
- 総合型・学校推薦型選抜の合格発表日 2/22まで（大学への共通テスト成績データ提供が2/18以降のため）

各大学の新型コロナウイルス感染症への対応（抜粋）

大学	公表日	変更内容				新型コロナウイルス感染症への対応（一般選抜）
		方選 法抜	要出 件願	追試 振替 ・	そ 他	
帯広畜産	6/19	●				・ 前期における調査書の点数化を見送り。合否ライン付近で点数化して利用する予定だったが、従来通り共通テストと2次の合計点で判定。合否ラインで同点者が並んだ場合、調査書の内容を総合的に判定する場合あり（点数化はしない）
福島	7/14	●		●		・ 調査書を用いた主体性等評価を見送る（調査書は点数化しない） ・ 人間発達文化・芸術・表現コース（前期）の実技（音楽）では、「歌唱をともなう試験」は行わず、動画の提出に代替する ・ 一般選抜（前期・後期）の追試験を3/22に実施する
筑波	5/29	●				・ 調査書の点数化を見送り
東京外国語	6/19	●				・ 言語文化学部、国際社会学部の前期の科目「英語スピーキングテスト（BCT-S）」の導入延期。受験料変更（値上げ）も延期 ※2019年度入試からスピーキングテストを実施している国際日本学部は実施継続
学習院	5/29				●	・ 国際社会科学部プラス試験を中止する ※プラス試験：英語資格検定試験利用型入試
国際基督教	7/2		●			・ 英語資格・検定試験を利用する入試における利用可能な試験の拡大。IELTS IndicatorおよびTOEFL iBT® Special Home Editionによる成績証明書も認める
清泉女子	6/12			●		・ 一般入試（2月入試）において、新型コロナウイルスに感染・濃厚接触者等で受験できない場合、3月入試（3/1）への振替受験を認める。また、共通テスト利用入試、一般入試（3月入試）においては振替受験・追試験を実施せず、入学検定料を返還する
	6/12	●				・ 一般入試において換算点利用する場合の英語資格・検定試験の有効期限を入学前3年度以内（2018年4月以降）のものまで有効とする
中央	5/29		●			・ 英語資格・検定試験を利用する入試における利用可能な試験の拡大。出願にあたりTOEFL iBT®のスコアの提出が必要な場合、TOEFL iBT® Special Home EditionのスコアをTOEFL iBT®と同様に扱う
東海	6/25				●	・ 工-航空宇宙-航空操縦学の新生受け入れを中止する
	7/10	●				・ 文系・理系学部統一選抜（前期・後期）、一般選抜（医学科除く）における英語資格・検定試験スコア利用の対象試験にTOEFL iBT® Special Home Editionを加える（換算基準はTOEFL iBT®と同様）
東京医療学院	要項			●		・ 一般選抜に出願し、新型コロナウイルス感染症等に罹患して当日受験できなかった希望者に追試験を実施 試験日：3/7 選抜方法：英・面
東京都市	7/8			●	●	・ 共通テスト利用方式では、合格発表日を2/11→2/12に遅らせる。特例追試験の受験者は、共通テスト①②の合格基準に基づき2/25に追加で合格発表する。後期3教科グループディスカッション型は、グループディスカッションを小論文に変更する可能性がある ・ 一般選抜（前期・中期）では、新型コロナウイルス感染により受験ができなかった場合、後の日程の試験に振替受験できる。全国主要都市の地方試験会場に加え、首都圏にもサテライト会場を増設し、移動リスクの軽減をはかる
東京理科	7/1				●	・ 2021年度新設予定の経営学部国際デザイン学科の1年次北海道長万部キャンパス利用を見送り（4年間神楽坂キャンパス）

国公立大 一般選抜のスケジュール (2021年度入試)



※国立大学協会・公立大学協会資料より

(参考) 過去のイレギュラー対応

● 2010年度入試 新型インフルエンザ対応

センター試験追試験の実施を本試1週間後から2週間後に変更（各大学への成績提供も後ろ倒しに）
各大学には追試験、振替受験、センター試験を参考にした合否判定等の方法で受験機会確保を求める
→センター試験追試験受験許可者数972名（例年の3百～5百人程度より多数）

● 2011年度入試 東日本大震災対応

国公立大の後期日程で追試の実施、センター試験成績のみでの合否判定

→後期日程を中止：25大学 追試を実施：35大学 後期非受験者への特別措置：4大学

※追試は約1週間後に実施の大学が多かった。科目は「口頭試問」「小論文」など本来とは別科目のところも

※後期中止、非受験者への特別対応は、センター試験の成績での合否判定

● 2020年度入試 新型コロナウイルス対応

国公立大の8大学が後期日程を中止、その他多くの大学が新型コロナ罹患等理由の非受験者への別対応を表明。私立大では、後日実施する日程への振替受験の誘導がみられた

→後期中止大はセンター試験の成績で合否判定した。この中には、配点を変更する大学がみられた

→北海道教育大（岩見沢－音楽文化）では実技に替えて動画の提出を求めた

→コロナ罹患等による非受験者への対応は、追試の用意、センター試験の成績での合否判定などがみられた

保護者としての心構え

受験勉強の大きな誤解 ①

『知識が増えると解くスピードはアップする』

- 知識が増えると解くスピードはいったんダウンします。
- 知識が増えるということは、問題を解くアイテムが増えるということです。アイテムが1つであれば、それを使ってできるかできないかで終わりですが、アイテムが増えるとそれを使ってできるまで解きにはいります。その分解くスピードはダウンします。

【アドバイス】

- ◆ 解くスピードがアップするには、最善のアイテムをすぐに見つけ出す力が必要です。
- ◆ この力を付けるのが問題演習です。アイテム選びが早くなれば解くスピードはアップし、アイテムを有効に使って得点力をあげることができます。

受験勉強の大きな誤解 ②

『得意科目で不得意科目をカバーできる』

- こう考える生徒も少なくありません。
- しかし、不得意科目を普通にするの方が重要です。不得意科目が普通になった時、得意科目の得点が志望大学への合格をぐっと近付けるのです。

【アドバイス】

- ◆ 不得意科目について生徒に話を聞くと次のパターンです。得意科目から勉強を始めて不得意科目を後回しを毎日続けていると、結局不得意科目の勉強時間が1番短くなります。「不得意→やらない→成績伸びない→嫌い」の悪循環です。
- ◆ 結局、不得意科目はやっていないだけの、「食わず嫌い」ということも結構多いです。

受験勉強の大きな誤解 ③

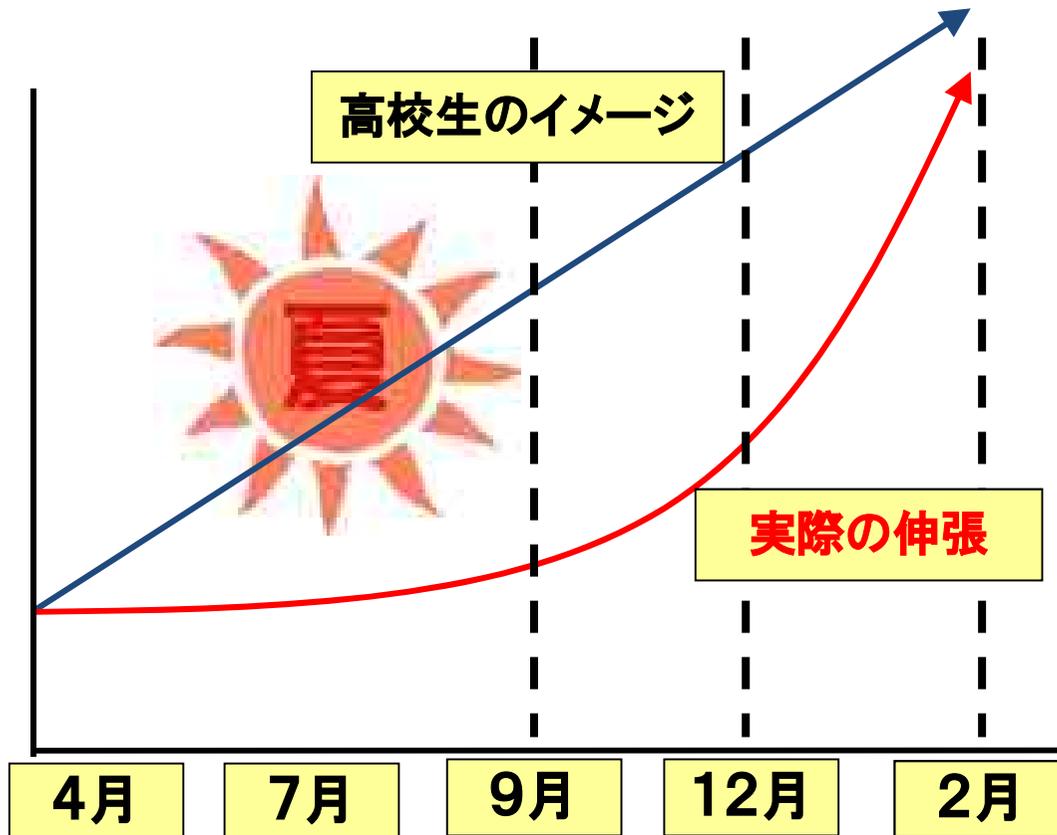
『受験勉強は普段の高校の勉強とは別物』

- こう思っている生徒は少なくありません。
- しかし、実際には同じものです。例えば現行のセンター試験は教科書に掲載されている内容以外は出題されません。入試問題のベースは教科書の内容、すなわち授業の内容です。

【アドバイス】

- ◆ 定期試験は一夜漬けでも対応できるのに、全範囲の入試問題や模試は無理。そこを難易の差と感じてしまうことが多いようです。
- ◆ 普段の勉強から受験勉強の切り替えに必要なことは、「だいたい分かった」から「正確に分かった」に基準を上げることだけです。

学力伸張のイメージ



思うように成績が伸びないからといって、志望をあきらめたり安易に不得意な教科を捨ててしまうのは、今後の進路選択における「可能性」の芽を摘んでしまう。



【子どものやる気を伸ばす保護者】

- 子どもを褒めることができる
- 口うるさく言わず、叱るときは具体的に注意できる
- 子どもの能力を数値だけで判断しない
- 自分自身の「不安」「イライラ」を抑え、ペースメーカーとして子どもの学習管理ができる

【子どもの足をひっぱる保護者】

- 過度に子どものことを心配する
- 何でも先回りして障壁を取り除く
- 子どもに期待をかけすぎる
- 口うるさく言うが態度が甘い

【受験期に保護者に感謝したこと】

- プレッシャーをかけずに見守ってくれた。
- 模試でよい成績が取れたとき、ほめてくれてうれしかった。
- 模試の結果が悪かったとき、「次があるから」と言ってくれた。
- 朝早く起きて、毎日お弁当をつくってくれた。
- 「あなたの人生なんだから自分の思ったとおりにしなさい。できる限りのサポートをするから」と言われた。

【最後に】

- ◆子供のベストサポーターでいてください。
- ◆決して保護者の方が頑張り過ぎないでください。
- ◆子供が辛いとき、後を振り返ったら必ず保護者が笑顔で見守ってくれている。
- ◆それが一番大切です。

大学受験と社会人基礎力

前に踏み出す力(アキゼツ) ー 決断に踏み出し、失敗しても、粘り強く目標達成まで



主体性
決断し進んでいく力
働き続け力
他人と協力し進んでいく力
実行力
目標を設定し、達成に向けて行動する力

- 目標を決めて勉強を始める
- 学習計画を立て実行する
- 最後まであきらめない

考え抜く力(ソウゼツ) ー 疑問を持ち、考え抜く力



課題発見力
現状を分析し、課題や問題を発見し、解決する力
計画力
課題の解決に向けて、プロセスを設定し、進捗を確認する力
創造力
新しい価値を生み出す力

- 課題を見つける
- 弱点を克服する
- 問題に真剣に取り組む（考え抜く）

チームで働く力(チームワーク) ー 多様な人々とともに、目標に向けて協力する力



発信力	自分の意見をわかりやすく伝える力
傾聴力	相手の意見を丁寧に聴く力
柔軟性	意見の違いや立場の違いを理解する力
状況把握力	自分と周囲の人々や物事との関係性を理解する力
規律性	社会のルールや人との約束を守る力
ストレスコントロール力	ストレスの発生原因に配慮する力